

卒業や進級に向けて、一步前進するために必要なものは何か？日頃の生活の中でよくある、ちょっとしたことで誰にもできて、でもなかなか難しいかもしれない「小さな勇気」。そのことをテーマにした『小さい勇気こそ』という東井善雄さんの詩を紹介します。

誰の心の中にもあるけれど、もしかしたらしまい込んでいる「小さな勇気」を、試してみませんか？

## 小さい勇気こそ

東井善雄

人生の大嵐がやってきたとき  
それがへっちゃらで  
乗り越えられるような  
大きい勇気がほしいにはほしいが  
わたしは  
小さな勇気こそほしい。

わたしの大切な仕事を後回しにさせ  
忘れさせようとする小悪魔が  
テレビのスリルドラマやマンガに化けて  
わたしを誘惑するとき  
すぐにそれをやっつけてしまえるくらいの  
小さい勇気でいいから  
わたしはそれがほしい。

もう5分くらい寝たっていいじゃないか  
けさは寒いんだよ  
あたたかい寝床の中からささやきかける  
小さい悪魔を  
すぐにやっつけてしまえるくらいの  
小さい勇気こそほしい。

明日があるじゃないか  
明日やればいいじゃないか  
今夜はもう寝ろよと  
机の下から呼びかける小さい悪魔を  
すぐにやっつけてしまえるくらいの  
小さい勇気こそほしい。

紙くずが落ちているのを見つけたとき  
気がつかないというふりをして  
さっさと行っちまえよ  
かぜひきの鼻紙かもしれないよ  
不潔じゃないかと呼びかける  
小さい悪魔を  
すぐにやっつけてしまえるくらいの  
小さい勇気こそほしい。

どんな困難ものりきれる  
大きな勇気がほしいにはほしいが  
毎日小出しにして使える  
小さい勇気でいいから  
わたしはそれがたくさんほしい。

それに  
そういう小さい勇気を  
軽べつしていたのでは  
いざという時の大きい勇気も  
つかめないのではないだろうか

